

# CONTENTS

# 大阪消防10

表紙：消防救助技術近畿地区指導会  
に向け訓練に励む救助隊員

|                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 01：コンテンツ／災害概況                       | 26：We are Rookies!                  |
| 02：特集 第52回消防救助技術近畿地区指導会             | 28：大阪の消防NEWS                        |
| 06：Weave the past, Weave the future | 30：市民表彰／救急安心センターおおさかだより             |
| 09：2025年大阪・関西万博                     | 31：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより               |
| 10：ジョカツ!!                           | 32：落語DE火の用心                         |
| 12：ケイボウタイムズ                         | 33：教えて〇〇課！                          |
| 14：Just Do It!                      | 34：【職務】令和5年中の規制対象物における<br>火災発生状況(2) |
| 16：【職務】「大阪の消防大賞」受賞!!                | 36：一緒に備えましょ！災害いつなるとき                |
| 17：救助工作車がかっこえん車                     | 37：消防漢字ガール                          |
| 18：震災対策一丁目一番地                       | 38：現場に活かす!救急救命士国家試験問題               |
| 20：コマンドアイ                           | 39：九条みなみの昇任試験問題研究所                  |
| 22：救急いろは                            | 40：アニマル環状線／編集後記                     |
| 24：実録!!調査鑑識                         |                                     |

## 大阪市の災害概況

### ◎火災概況

|               | 建物火災 |    |     |     | 小計  | 車両 | 船舶 | 爆発 | その他 | 合計  |
|---------------|------|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
|               | 全焼   | 半焼 | 部分焼 | ぼや  |     |    |    |    |     |     |
| 8月中件数         | 2    | 3  | 14  | 36  | 55  | 4  | 0  | 0  | 10  | 69  |
| 令和6年<br>8月末累計 | 11   | 16 | 123 | 253 | 403 | 28 | 1  | 2  | 53  | 487 |
| 令和5年<br>8月末累計 | 12   | 11 | 92  | 251 | 366 | 24 | 1  | 3  | 78  | 472 |
| 累計比較          | ▲1   | 5  | 31  | 2   | 37  | 4  | 0  | ▲1 | ▲25 | 15  |

### ◎救急概況

|               | 救急出場    |
|---------------|---------|
| 8月中件数<br>(概数) | 21,884  |
| 令和6年<br>8月末累計 | 183,334 |
| 令和5年<br>8月末累計 | 177,760 |
| 累計比較          | 5,574   |

### ◎火災・救急以外の消防活動概況

|               | 救助活動  | 危害排除  | 水防活動 | その他の<br>消防活動 |
|---------------|-------|-------|------|--------------|
| 令和6年<br>8月末累計 | 3,185 | 890   | 0    | 783          |
| 令和5年<br>8月末累計 | 2,985 | 1,043 | 4    | 858          |
| 累計比較          | 200   | ▲153  | ▲4   | ▲75          |

◆ 訓練を振り返って～中隊長から～ ◆



西成消防署1部  
消防司令補  
嵯峨 慶彦

引揚救助

陸上の部 第一中隊長

「絆」。私は強化訓練を通じ、この言葉の意味、持つ力を強く感じました。灼熱の環境の中、同じ目標に向かい、共に励まし合い歩んできた仲間との「絆」。いつも笑顔と温かい言葉で我々強化隊員を訓練の場に送り出し、そして迎えてくれた所属の方々との「絆」。家事、子育てが忙しい中、全力でサポートし応援してくれた家族との「絆」。様々な「絆」が私たちを奮い立たせ、本番のスタートラインに立った時も強く背中を押してくれました。そんな多くの「絆」とたくさんの愛を受け、大阪市消防局の代表として駆け抜けた日々は私の宝物となりました。

私たちがここで得た、チームワーク、強靱な体力、精神力、知識、技術は必ず災害現場、人命救助に生きるものであると確信しています。

最後にこの訓練に携わって頂いた全ての方々、無償の愛でサポートして下さった全ての方々、本当にありがとうございました。



中央消防署2部  
消防司令補  
森本 晃輝

ロープブリッジ救出

陸上の部 第二中隊長

長いようで短かった暑い夏が今年も終わった。

7月30日、雲一つない晴天の中、私たち強化隊員63名は約3ヵ月間の訓練の集大成として本番に挑みました。訓練中は、常に仲間と励ましあい、時にはぶつかることもありましたが、それも全員が「勝ちたい！」という同じ目標をもっていただけでした。

勝つためにはどうしたらいいのか。常に研究し、考え、自分たちの答えを求めていきました。それは、人を助ける場合でも同じことが言えると思います。要救助者のことを考え、より安全、確実、迅速に救出するにはどうすればいいのか。救助訓練では救助隊の根幹である「人を助ける」ことへの姿勢や向き合い方を深く学ぶことができました。

この訓練で経験したことは間違いなく災害現場で生きてくると感じています。

最後に、この3ヵ月間、私たち強化隊員のために手厚くサポートして下さった事務局、指導員の皆様、この訓練の場に送り出してくださった署員の皆様に心から感謝申し上げます。そして、どんな時でも支えてくれた家族へ感謝の気持ちを伝えたいです。



阿倍野消防署2部  
消防司令補  
堤 勇樹

水中結索  
水中検索救助

水上の部 中隊長

昨年度に引き続き、水上の部の中隊長を務めました。今回は溺者搬送、水中結索、溺者救助、水中検索救助の4種目、延べ12人が全国大会へ進むことができました。この成績から、中隊長としてやるべきことは果たせたと感じています。

私は平成27年の神戸大会に初出場して以来、約10年、この訓練に携わってきました。これほど長く続けてこられたのは、送り出してくださる所属の方々や家族の理解とサポートがあったおかげです。そして何より、水上の部というこの場所が、自分にとって最も輝ける場所だったからです。あらゆる立場や環境でこの訓練に向き合い、その時々で多くのことを学びました。消防人生において、自分たちの努力がフォーカスされ、大きく成長できる場所があったことは、本当に幸せなことだと思います。

これから近畿強化訓練で活躍する隊員には、この場所で救助に向き合った時間を決して無駄にせず、自分が選んだ道を信じ、目標に向かって突き進んでほしいと思います。そうすればきっと大きく道が開くはずですよ。



第52回消防救助技術  
近畿地区指導会

2024.7.30

令和6年7月30日(火)、堺市総合防災センターにおいて開催された第52回消防救助技術近畿地区指導会に、当局から63名の隊員が参加しました。千葉市で開催される全国消防救助技術大会を目指して、強化隊員たちは日ごろの訓練成果を存分に発揮しました。今月の特集は、消防救助技術近畿地区指導会の結果及び様子、さらに中隊長3名と初出場の隊員6名のコメントを紹介します。

## ◆ 消防救助技術近畿地区指導会へ初出場して ◆



中央消防署2部  
消防士長  
菱川 翔太  
複合検索  
水中検索救助

今回、初めて近畿地区指導会に参加しましたが、自分一人の力では決して乗り切ることが出来なかった3ヵ月間だったと感じました。

3ヵ月という長期にわたる訓練期間中、タイムが伸びず気持ちが切れかかった時期がありました。そのような時、指導員の方々やチームメイトからの的確なアドバイスにより、徐々に不安が解消され自信へと繋がっていきました。所属では、毎回かけてくださる温かい声援、強化隊員が訓練に集中しやすい環境作りを支えられました。プライベートでは、訓練に協力的な家族との時間が、心身共に疲労を回復できる場となりました。訓練の回数を重ねるごとに支援して下さる方々への感謝の気持ちがより深まりました。さらに、支援して下さる方々へ結果で恩返しするために、「最後まで諦めない」を念頭に置きながら訓練に取り組みました。

結果は、全国大会に進むことはできませんでしたが、今の自分の実力は出し切れたと思います。悔しさが残りますが、結果以上に得られたものが多くあります。この経験を後輩たちに伝えていき、次回参加する時は必ず全国大会に出場します。



西消防署2部  
消防士長  
澤本 涼樹  
人命救助

私は、本指導会に人命救助の補助者として出場しました。全国大会へ出場し、日本一になるというチーム目標を掲げ挑みましたが、僅か0.01秒の差で出場は叶いませんでした。

私達のチームは救助者と補助者共に人命救助1年目で、4月に初めて顔を合わせ、初出場へ向けて悩み試行錯誤する毎日を過ごしました。訓練当初は、減点や失格も多く、要救助者を救出するという本来の目的を疎かにしてしまうチームでした。しかし、指導員やOBの方々からのアドバイスや、救助に対する熱い想いを受け取ることで、成長することができました。また、お互いを信じ、励ましあって訓練を乗り越え、指導会の場で要救助者を救出できたことは誇りに思っています。

本指導会の舞台に立つことで、見えた景色は、これから私が紡いでいく消防人生の大切な一部になると思います。私を選び送り出してくれた所属の皆様、心暖かくサポートして下さった皆様、そしてチームを組んでくれた2人には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

強化隊員たちは、この日のために積み重ねてきた訓練の成果を発揮し、大阪市消防局からは、6種目(陸上の部2種目・水上の部4種目)14名の隊員が、全国消防救助技術大会への切符をつかみ取りました。

### 全国消防救助技術大会への出場者

#### 訓練種目(陸上の部)

#### 訓練種目(水上の部)

|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 引揚救助 | 消防士長  | 勝丸 大地(東住吉) |
|      | 消防司令補 | 北川 瞬(北)    |
|      | 消防士長  | 足立 浩章(北)   |
|      | 消防士長  | 阿波谷 康平(北)  |
|      | 消防士長  | 下之園 舟(住吉)  |
|      | 消防士長  | 中西 詠一(住吉)  |

|        |       |            |
|--------|-------|------------|
| 溺者搬送   | 消防士長  | 山村 亮博(都島)  |
|        | 消防士   | 武江 心平(水上)  |
| 水中結索   | 消防司令補 | 堤 勇樹(阿倍野)  |
|        | 消防士長  | 高瀬 涉(東住吉)  |
|        | 消防士   | 森下 翔太(水上)  |
|        | 消防司令補 | 塚元 祐司(東淀川) |
| 溺者救助   | 消防士長  | 山村 亮博(都島)  |
|        | 消防士長  | 窪田 琢也(水上)  |
| 水中検索救助 | 消防司令補 | 堤 勇樹(阿倍野)  |
|        | 消防士長  | 高瀬 涉(東住吉)  |
|        | 消防士長  | 難波 拓人(天王寺) |
|        | 消防士   | 森下 翔太(水上)  |



港消防署2部  
消防司令補  
橋本 将樹  
ほふく救出

先輩方の大舞台に立つ堂々とした背中に憧れ、「自分も必ずあの舞台へ」と挑み続け、何度も悔しい思いを経験して15年。初めて憧れの舞台に立つことができました。

しかし、憧れの舞台は、これまで先人達がどれほどの思いを背負ってあの舞台で戦ってきたのかを実感させられる場でした。大阪市消防局の名前を背負う重圧と、ゼッケン「大阪」に恥じぬ消防人として他を寄せ付けぬ強者でなければならない、と自分自身にかけた重圧で、タイムも伸び悩みました。そんな苦しみの中、支えてくれたのは同じく大会に挑む仲間、そして家族でした。勝つことはもちろんですが、憧れの舞台を楽しむことも大切であると気付かせてくれました。

結果は、1位を取ることはできませんでしたが、憧れの舞台に立つために努力し続けた経験と、この大会を通して得られた大切な仲間たちは、私にとって人生の宝物です。

この貴重な経験をあの輝かしい舞台に憧れを持つ隊員へ少しでも伝えていければと思います。最後になりますが、我々隊員が誰一人として欠けることなくこの舞台に立つことができたのは、各所属はもちろん、見えないところで支え続けて下さった皆様方のおかげです。心より感謝申し上げます。



西成消防署1部  
消防士長  
三浦 徹朗  
はしご登はん

本番のスタートラインに立った時、3ヵ月間共に切磋琢磨した仲間や支えてくれた上司、同僚からの声援が聞こえました。緊張と不安で落ち着かなかった私の心の中は、自然と平常心になっていました。振り返れば、訓練の始まった5月から本番までは、はしご登はんという種目に真摯に向き合い、仲間と競い合う3ヵ月間でした。そして、この3ヵ月間は技術や体力だけでなく、訓練に取り組む姿勢や人間力も大きく向上させてくれました。この強化訓練で学んだことは必ず現場活動や今後の消防人生での大きな糧になると確信できる3ヵ月間でした。

結果は全国大会出場を逃してしまいましたが、結索、カラビナ、登はん、どれを見ても訓練の成果が如実に発揮された瞬間でした。このような訓練成果を出すことができたのは、携わっていただいた全ての方々や家族の協力のおかげです。大阪市消防局の代表として過ごした期間をととても誇りに思います。心より感謝申し上げます。



都島消防署1部  
消防士長  
多賀井 悠介  
ロープ応用登はん

今回、予選会を勝ち抜き近畿地区指導会に初出場することができました。5月から訓練を行い、当務、非番と限られた時間の中で、目標に向かって相方と悩みながら課題をこなす日々でした。強化訓練中は上手いいかないことが多く、挫けそうになる毎日でしたが、指導員をはじめ、多くの方の指導を受け、周囲の方の支え無くしては本番を迎えることができなかったと思います。

本番は最高の結果で終わることが出来ませんが、強化訓練を経験した過程で気づき、得たものが多くあります。その中でも一番大きなものは「感謝」の大切さです。

もちろん結果も大切で、勝つための訓練を行って来ましたが、自分が訓練を続けることが出来たのは、本番を迎えるまで応援し、支えてくれた指導員、所属の職員、種目を超えた訓練隊員、家族、そして一緒に訓練した相方などの存在があったことだと改めて気づくことができました。

この夏の経験は、自分を大きく成長させ、今後の災害現場で必ず活かされると思います。



東住吉消防署1部  
消防士長  
平野 伴樹  
障害突破

初めに、本訓練を行うにあたり支えてくださり応援して下さった皆様へ、素晴らしい経験をさせていただいたことにこの場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

約3ヵ月間の訓練で得た経験を現場に還元することを第一に考え全力で臨みました。その過程は、タイムの伸び悩みに頭を抱えることや、失敗の連続でした。しかし、チーム一丸となって課題に向き合い切磋琢磨しながら、どんなに逆境であっても「俺たちは強い!!!」と自分を奮い立たせました。又、指導員の方々からの熱いご指導があったおかげで、万全の状態の本番のスタートラインに立つことができました。目標である全国大会出場を果たすことができず満足はいき結果ではありませんでしたが、チームメイトと全力で挑み、幾つもの障害を突破したこの一夏の経験は私の消防人生の大きな財産であり宝です。

強化訓練を通して培った経験を今後の災害現場対応に最大限に活かしていきたいと思っています。

過去の災害を活動隊員の「声」で振り返る

# Weave the past, Weave the future

—過去・未来を紡ぐ—

## 第3回 個室ビデオ店「キャッツ」

平成20年10月1日未明、中高層建物が立ち並ぶ密集地域で、雑居ビル1階の個室ビデオ店で起きた炎上火災。死者15名、負傷者10名（うち1名は後に死亡）。計40隊、117名が出動した。



インタビューに答える植松署長

天井まで仕切られた試写室が並ぶ、個室ビデオ店で起きた大火災。1階で出火したことから、消防活動は比較的容易だったのではと思われるがちですが、周囲がコンクリート壁で覆われた無窓階である上に、廊下の構造も複雑で狭く、店舗内への入口は1か所だけ。消防隊到着時、出火点のある試写室側には、すでに高温の熱気が充満していたであろうことも、焼損状況からうかがわれます。そんな現場で、最先着隊（2部浪速救助隊）の救助隊長であった、西成消防署植松幸広署長に、当時のお話を伺いました。

### —初動活動は？

指令の段階では初期情報や続報もなく、現場の様子をイメージできないまま、いつもと同じように資器材の確認等を行いながら出動しました。現場に到着した時には、すでに入口付近から濃煙が噴出しており、そこにいる従業員2名のうち1名が、入口東側の花壇内にある散水栓のホースで消火を試みていました。従業員から「多数の逃げ遅れがいる」と聞き、直ちに「要救助者、多数あり」と無線で報告。その後、従業員から「何人いたかは不明だが、約20名以上のお客さんが滞在している」と聴取したため、さらに救助中隊の出動を要請しました。入り口付近から建物内部の状況を確認したと

### —救出状況は？

入口の右側から濃煙が噴出し、内部は濃煙と熱気、狭隘で二つ目の角を曲った所でかなりの熱気がありましたが、熱画像カメラを携えて探索を開始しました。低い姿勢で少し進んだところ、かすかに声が聞こえたことから、その声呼びかけながら前進し、うつ伏せ状態の要救助者を発見。隊員Aが要救助者の両脇を抱え、隊員Bが先導（隊員Aを引っ張るように）して、救出しました。その後、救急隊の増強要請を指示し、梯子小隊にサルベージシートによる応急救護所の設置を依頼。続いて、梯子機関員の進言で送排風機の搬送及び設置を手配し、さらに活動を続けました。隊員Aが再び進入し、通路左側の1室に到達しますが、施錠されておりそれ以上進めません。前回の進入時に両側に扉があることを確認していたことから、隊員Bは右側の1室まで探索し、うつ伏せ状態の要救助者を発見。救出して応急救護所に搬送しました。

すぐに再探索のため内部進入。左側には複数の部屋が並んでいましたが、施錠されていたため、中に要救助者が居るものと判断し、ドアを破壊しつつ、探索活動を続けました（火点より手前側で破壊して探索した部屋の多くは空室）。

### —困難を極めた救出時の状況

主火力が燃焼中で、低い姿勢でも猛烈な熱気があった上に、通路がかなり狭隘だったため、救出活動は極めて困難なものとなりました。さらに活動を困難にしたのは、各室の扉が廊下側への開き戸で、通水したホースが障害となって扉を十分に開放することができなかったことです。そのため、ポンペを背負った状態では、室内に進入することができませんでした。ドアの下側に床から10cmでも隙間があれば、ホースに通水していてもドアの開放が可能になり、活動が変わっていたかもしれません。また、現場では、早い段階でマスコミが多数集まり、ビルの上からも写真撮影が行われていました。そのため、要救助者を救出するにあたり、救出場所の調整や救出方法も考慮しなければならず、活動がより困難になる要因となりました。

### この火災を契機に導入された3つの資器材

構造が複雑な店内には煙の逃げ場がなく、濃煙がまたたく間に充満し、消防活動を困難にしました。この現場での状況を受け、狭い空間でも活動性が確保できるノズルや、濃煙の中での人命検索を補助する資器材の必要性を求める声が多く上がり、次の資器材が導入されるに至りました。

### ■災害概況

|   |                              |
|---|------------------------------|
| 発生場所  | 浪速区難波中3丁目3番23号               |
| 名称  | 桜ビル 1階個室ビデオ店「キャッツ」           |
| 覚知日時  | 平成20年10月1日（水）2時59分           |
| 鎮圧日時  | 平成20年10月1日（水）4時33分           |
| 鎮火日時  | 平成20年10月1日（水）8時18分           |
| 出動隊   | 出動台数40台、出動人員117名             |
| 死傷者   | 死者15名 負傷者10名（うち1名が10月14日に死亡） |
| 焼損程度  | 1階店舗（個室ビデオ店）37㎡焼損、57㎡表面焼損    |
| 現場は、南海電鉄南海線なんば駅から南西方向へ150mの地点で、東側は阪神高速環状線が南北に通る、西側は大阪府立体育会館が位置している中高層建物が立ち並ぶ密集地域である。都市計画法による用途地域は商業地域で、準防火地域に指定されている。 |                              |

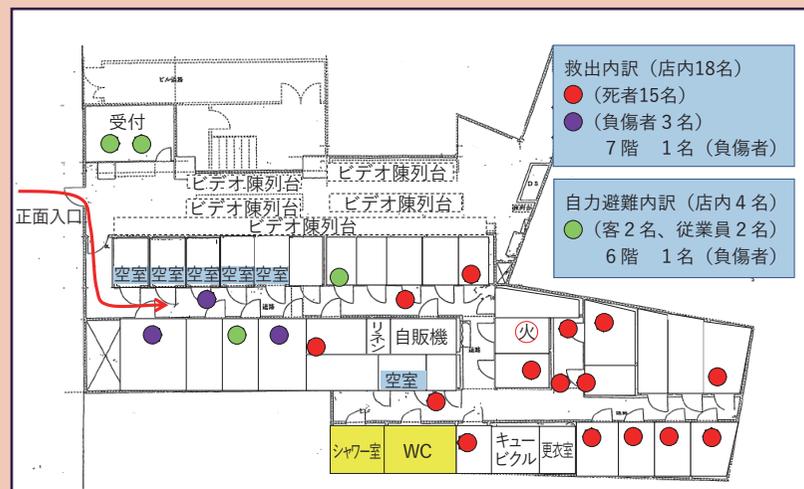
ころ、かなり狭い廊下がかすかに視認できました。隊員A、隊員Bの2名を進入させ、続いて私も進入しようとしたところ、建物の上階へつながる入口から男性1名が自力で避難してきました。その男性によると「7階に逃げ遅れが1名いる。2〜5階はテナントビルで滞在者なし」とのこと。隊員C（機関員）に状況確認を指示して進入しようとしたところ、内部進入隊員から、「要救助者発見！」の声が聞こえてきました。

### ●ガントイプノズル（クアドラフオグノズル）

当時の隊員の声…相当の熱気と濃煙の中、屋内に進入し、室内温度も高い状況下で、屋内も狭く筒先の取り回しも困難であった。

資器材の特徴…個室ビデオ店のように狭く迷路のような室内はもちろん、耐火構造建物での火災

### ■店舗内死傷者発生状況図



# 開催まであと190日です!!

※(令和6年10月5日時点)



提供：2025年日本国際博覧会協会

みなさん、こんにちは!

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催までいよいよ200日を切りました。パビリオンの建設や会場の整備が進み、来年4月の開催に向けて準備が着々と進められています。大阪・関西万博の会場は、四方を海に囲まれた「海」をイメージし、世界とつながる「海」と「空」が印象強く感じられるデザインになるとされています。今回は、大阪・関西万博会場のシンボルと位置づけられている「大屋根リング」について紹介いたします。



大阪・関西万博公式キャラクター ミヤクミヤク ©Expo 2025



消防局による会場視察の様子

大阪・関西万博の「大屋根リング」は、会場のコンセプトである「多様でありながら、ひとつ」を表現するシンボルとして建設されています。「大屋根リング」は、109個の木架構造(内側は12m)、内径約61.5m、高さ約20mにも及び、世界最大級の木造建築物となります。「大屋根リング」の柱と梁は、柱をくり抜いた開口部に梁を差し込む貫接合により組み立てられているのが特徴で、地上で420mm角の柱材と210mm×420mmの梁材を組み合わせたユニットをクローラーで吊り上げ、組み立てを行ったとのこと。「大屋根リング」には、消火器、自動火災報知設備、屋外消火栓設備、非常警報設備等、消防法に基づく消防用設備が設置される予定です。消防局も会場視察を行い、万全な消防体制の構築に向けて、一丸となって取り組んでいます。

## 「大屋根リング」について

## おわりに

大阪・関西万博では、未来技術、文化交流、サステナビリティに焦点を当てた多彩な展示やイベントが予定されており、その見どころは非常に豊富です。今回ご紹介した「大屋根リング」を中心として、万博会場内には様々なパビリオンが配置される予定です。火災や事故が発生した際の対応などの検討を行い、来場者の皆さまの安全に寄与できるよう努めていきます。



提供：2025年日本国際博覧会協会



●定量・デマンド併用式循環式酸素呼吸器(オキシゼムII)  
当時の隊員の声・呼吸器の消費量が多く、何度も空気ボンベの交換を余儀なくされた。資器材の特徴…ボンベ内の酸素を加えながら呼吸を循環させることによって、90〜120分という長時間の活動を可能にする酸素呼吸器。コンパクトで身体にフィットするケース型で活動性が高く、面体と呼吸管の接続がワンタッチで、容易に装着できる。酸素呼吸器を装着すると声



が伝えづらくなるため、当局では拡声装置(ESPISD4ISC X・セパレート型)も採用し、現場で隊員間の意思伝達がスムーズに行えるようにしている。



●熱画像直視装置(ナビゲーターNI-50)  
当時の隊員の声・検索時、片手で熱画像カメラ(テリスマン)を手にし、煙の中、先で何が待ち受けているかわからないまま進入した。真っ黒な濃煙がカメラと面体の間に入り画面が視認できず、奥行きも全くわからなかった。資器材の特徴…ヘルメットに装着する熱画像直視装置。両手が自由に使えるため濃煙や熱気の中でも安全・迅速に検索・救助活動が行える。

## 植松署長からのメッセージ



西成消防署長 植松 幸広

この火災現場に出場した隊員が、あの場でできる限りの活動をしたことは間違いないと思います。当時は、個室ビデオ店の存在自体が、まだ広く知られていませんでした。進入口が1か所、狭隘で活動スペースもままならない状況で、濃煙、熱気という悪条件の中、1人でも多くの方を助けたい気持ちで活動しました。

個室ビデオ店の複雑な構造や出火の状況、時間的な要素、要救助者発見の状況から考えると、要救助者が極めて救出困難な状況下にあったことが推定できます。

私自身、方面隊勤務の頃に隊長から「この建物が燃えたらどうする?」「構造はどう?」「面積なんぼ?」「筒先何処にいれる?」などと聞かれることがよくありました。今思えば、常日頃から様々な想

像力を張り巡らせることが、災害時に対応するための想定訓練でもあったのだと思います。しかし、この個室ビデオ店の火災現場の状況は、私の想像力をはるかに超えるもので、自身の力量不足を痛感させられました。

災害現場では、一瞬の判断がとても大切です。その瞬間、その場に居てこそ感じるものがあり、ためらう事無く行動することが求められます。

あの活動で、はたして良かったのだろうか……消防士なら、どんな現場活動しても、もっと良い活動が出来たのではと、帰署後には反省するものです。より良い活動をするために、あらゆる訓練を繰り返していき、判断力を身に付け、心身ともに鍛え、次の災害に備えて欲しいと思います。

消防の仕事は、災害現場で市民の生命、財産を守ることを任務とします。その最前線で活動させていただいたことは本当に貴重な経験で、この仕事を選んで良かったと思っています。

災害は必ず起こります。災害時に出場したときは、仲間と共に、自身が出来る最大限の力を発揮して、大阪市民の生命、身体、財産を守ってくださることを信じています。